

公表

## 事業所における自己評価総括表（保育所等訪問支援）

○事業所名	綾部市こども発達支援施設「あいむ」		
○保護者評価実施期間	令和8年2月16日		～ 令和8年3月15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	令和8年3月24日		～ 令和8年3月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○訪問先施設評価実施期間	令和8年2月16日		～ 令和8年3月15日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月23日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	事業所には臨床心理士や作業療法士、保育士、学校教諭などの多職種が在籍している為、多角的な視点で対象児や訪問先の課題に対応する事ができる。	訪問開始にあたっては、他職種での情報共有やアセスメントの共有を行うように努めている。	多職種連携を行う頻度を増やして、多角的なアセスメントや介入ができるように努める。
2	保護者の子育てに関する悩みに対して、他機関と連携しながら対応している。	関係機関（担当保健師や医療機関など）との連携を行い、包括的に対応できるように努めている。	定期的に関係機関と連携を行うように努める。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	訪問先から訪問頻度について、多いと感じている記載が複数見られた。	訪問先と支援計画や訪問目的の共有は行っていたが、訪問頻度についての意見交換が不十分であった。	訪問先との情報共有を十分に行い、訪問頻度についても意見交換を行う。
2	家族に対する支援プログラムを提案する事。	支援プログラムのチラシや紹介文書が見れるように設置しているが、具体的に紹介したり勧めたりする事がなかった。	全ての保護者に対して、家族に対する支援プログラムを必ず紹介する。 また、必要と思われた時には再度紹介する。
3	訪問支援員の人数が少ない。	訪問を行うスタッフは1名で対応している。	訪問を行うスタッフの増員。